



追加型投信 / 内外 / 株式

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド

〈愛称:ロイヤル・マイル〉

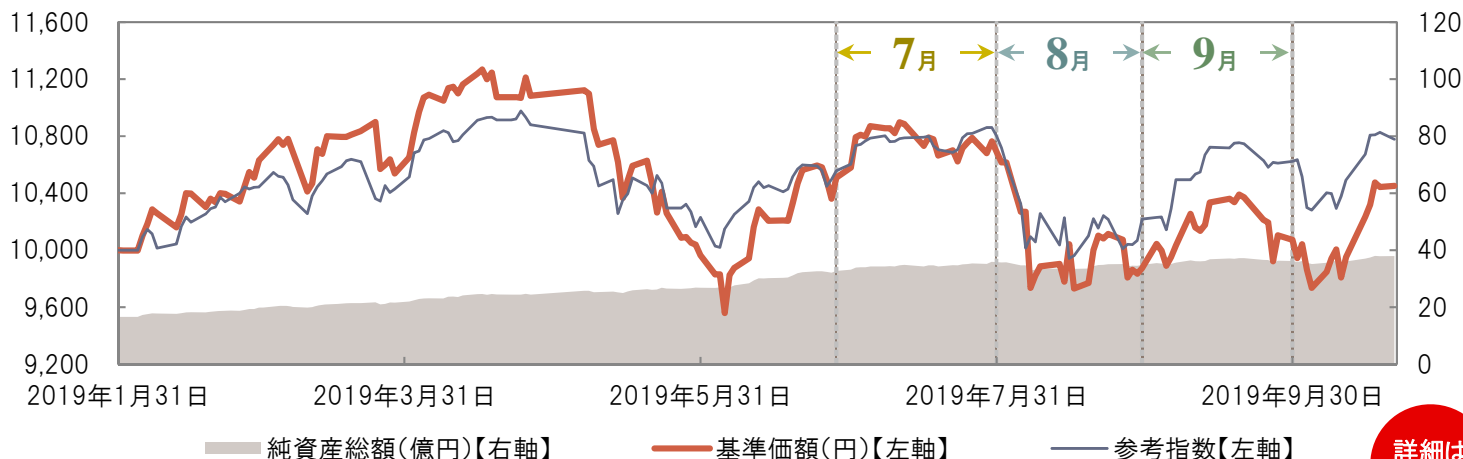
設定来の運用状況のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日:2019年10月21日

平素より、「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称:ロイヤル・マイル〉」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。本レポートでは、当ファンドの設定来の運用状況等をご報告いたします。今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

設定来の基準価額等の推移

(期間:2019年1月31日(設定日)~2019年10月21日)



詳細は次ページ

	投資環境	騰落率	当ファンドの基準価額にプラス寄与・マイナス寄与した主な銘柄
7月	米中通商交渉の進展に対する期待やパウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長の議会証言での利下げを容認する発言などが好感され、グローバル株式市況は上昇。	当ファンド:1.7% 参考指数:2.3%	アルファベット プラス寄与 7月の騰落率:12.6% (米ドルベース)
8月	米トランプ大統領が新たな対中関税を発表したことなどから、月初にグローバル株式は大幅下落。その後も米国の景気後退懸念などを背景に上値の重い展開。	当ファンド:-7.6% 参考指数:-5.4%	テンセント・ホールディングス マイナス寄与 8月の騰落率:-11.8% (香港ドルベース)
9月	米連邦準備制度理事会(FRB)や欧州中央銀行(ECB)の追加緩和への期待や米中通商交渉の進展期待などを受け、グローバル株式市況は上昇。	当ファンド:2.0% 参考指数:4.0%	テスラ プラス寄与 9月の騰落率:6.8% (米ドルベース)

・基準価額(1万口当たり)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。また、当ファンドは、基準日時点での分配金の支払い実績はありません。・参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス(配当込み、円ベース)です。参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。詳しくは、後記の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。・参考指数は、設定日翌々営業日を10,000として指数化しています。

(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称:ロイヤル・マイル〉

当ファンドの基準価額にプラス寄与・マイナス寄与した銘柄のご紹介

2019年

7月

プラス寄与

アルファベット

国・地域 / アメリカ

業種 / コミュニケーション・サービス

- インターネット検索サイト「Google」を運営するグローバル企業。Google運営の他にも、広告、地図、ソフトウェア・アプリケーション、ハードウェア製品などを提供。
- 同社の強みであるデータ解析技術を駆使し、自動運転技術を開発中。
- 2019年4-6月期の決算内容が市場予想を上回ったこと等を背景に、株価上昇。



2019年

8月

マイナス寄与

テンセント・ホールディングス

国・地域 / 中国

業種 / コミュニケーション・サービス

- VAS(ネット・モバイル付加価値サービス)とオンライン広告が2大事業である中国企業。
- SNS、オンラインゲーム、モバイル決済サービスなど1社でフルサービスを展開し、強固な顧客基盤を構築。SNSアプリ「Weixin/WeChat」の直近*の月間アクティブユーザー数は11億人を超える。 *2019年第2四半期末
- 米中通商交渉への懸念等を背景に、株価下落。



2019年

9月

プラス寄与

テスラ

国・地域 / アメリカ

業種 / 一般消費財・サービス

- 高性能電気自動車(EV)を設計、製造、販売。独自の販売網を保有し、電気自動車の部品(電動パワートレイン)を他の自動車メーカーに販売。
- 他にも、家庭用バッテリーや太陽光パネルなどの再生可能エネルギー事業も展開。
- 納車台数に対して楽観的な見通しが市場で広がったこと等を背景に、株価上昇。



当ファンドで保有している中国株式に対する米中通商交渉の影響

2019年1月の設定日以降、米中通商交渉に関する報道等によって、当ファンドで保有している中国株式の株価が上昇・下落する局面がありますが、あくまで中国経済全体に対するマクロ的な視点によって一部の投資家が一喜一憂しているものと考えています。

運用チームの綿密な企業調査によって組み入れている中国株式は、短期的には米中通商交渉に影響される場面はあるものの、長期的にみた潜在的な成長力は不変であると考えています。

今後も米中通商交渉の動向には注視しつつ、ファンダメンタルズ(企業の財務状況)の分析に沿った運用を行います。

・業種はGICS(世界産業分類基準)、国・地域名はベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当ファンドの基準価額にプラス寄与・マイナス寄与した銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成 (写真)Adobe

■ 上記は、将来の運用成果等を保証するものではありません。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称:ロイヤル・マイル〉

運用状況*(2019年9月末現在)

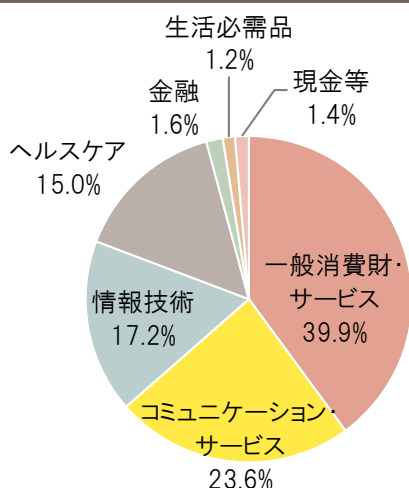
*投資対象ファンドであるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドのポートフォリオです。

組入上位10銘柄

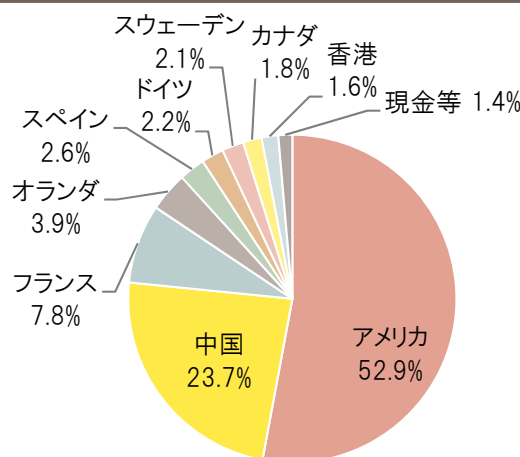
(組入銘柄数:33)

銘柄	国・地域	業種	比率
1 アマゾン・ドット・コム	アメリカ	一般消費財・サービス	8.1%
2 イルミナ	アメリカ	ヘルスケア	7.4%
3 テンセント・ホールディングス	中国	コミュニケーション・サービス	6.8%
4 アリババ・グループ・ホールディング	中国	一般消費財・サービス	6.4%
5 フェイスブック	アメリカ	コミュニケーション・サービス	4.8%
6 テスラ	アメリカ	一般消費財・サービス	4.7%
7 ケリング	フランス	一般消費財・サービス	4.6%
8 アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	4.4%
9 ASMLホールディング	オランダ	情報技術	3.9%
10 ネットフリックス	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.8%

業種別比率



国・地域別比率



・比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。なお、投資対象ファンドへの投資比率は98.7%です。・業種はGICS(世界産業分類基準)、国・地域名はベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

今後の運用方針

米中通商交渉や英国の欧州連合(EU)離脱などの不透明感から、短期的には不安定な相場展開が続く可能性があるものの、当ファンドのポートフォリオは将来の成長に適した位置付けにあると考えています。保有している投資先企業は、長期にわたり売上高と利益で平均を上回る成長率を達成する能力を有すると確信しています。また、これらの企業の多くは、多くの新興市場における生活必需品以外に対する消費支出の伸び、テクノロジーとインターネットの台頭、そして医療の進歩など、長期にわたって持続が見込まれる構造的な成長ドライバーによって支えられていると考えます。当ファンドでは、ファンダメンタルズ(企業の財務状況)の分析を継続するとともに、競合他社に対する持続可能な優位性を確保し長期的な視点を持った経営陣によってマネジメントされている企業の発掘に重点を置いた銘柄選定を行います。

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称:ロイヤル・マイル〉

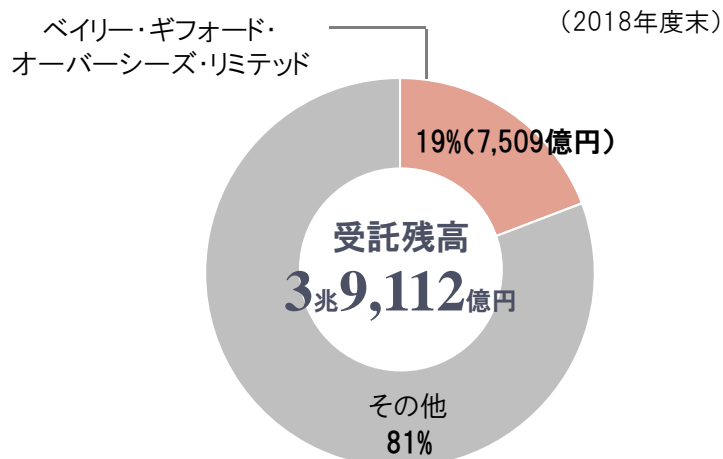
ベイリー・ギフォード社について

ベイリー・ギフォード社は、1908年にスコットランド・エディンバラで創業して以来、100年以上にわたり「長期投資の哲学」に基づき、グローバル株式投資において運用実績を積み上げるとともに、各国の年金基金などの機関投資家から資産運用を任されてきました。

年金運用で活躍するベイリー・ギフォード社

ベイリー・ギフォード社は、日本の年金積立金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)から海外株式アクティブ運用の一部を受託しており、残高は7,509億円にのびます。これは、同様の運用手法を行うカテゴリーの中では3位の受託残高を誇ります。

GPIFの海外株式アクティブ運用委託先の割合



(出所)年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)「2018(平成30)年度業務概況書」の資料を基に三菱UFJ国際投信作成

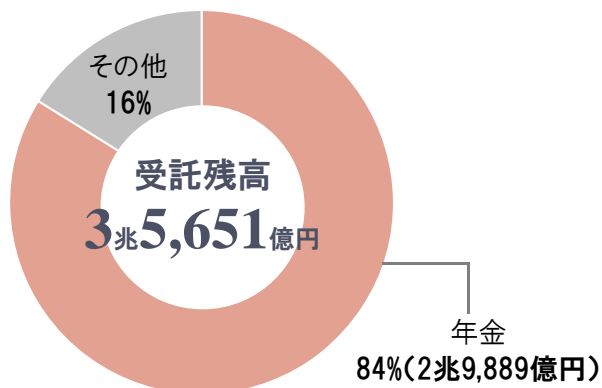
【ご参考】ロングターム・グローバル・グロース戦略(LTGG戦略)のご紹介

年金運用で活躍する「LTGG戦略」

当ファンドの投資対象ファンドの運用戦略である「LTGG戦略」の顧客のうち約8割は年金基金となっています。また、LTGG戦略の国・地域別残高で、日本は約2,508億円の残高となっています。

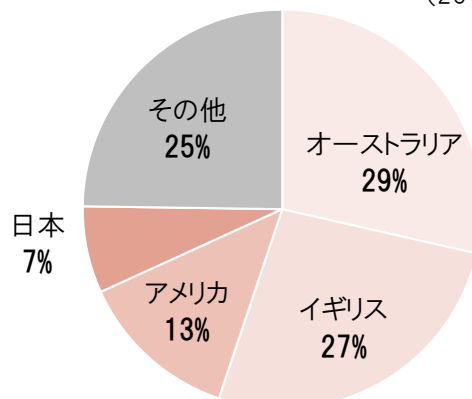
LTGG戦略の顧客タイプ別残高

(2019年9月末)



LTGG戦略の国・地域別残高

(2019年9月末)



(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称:ロイヤル・マイル〉

【ご参考】LTGG戦略のご紹介(前ページの続き)

下記は、長期の運用実績をお示しするため、LTGGコンポジットのデータを用いています。LTGGコンポジットは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※コンポジットとは、運用のパフォーマンス測定のため、類似の投資目的、投資戦略に基づき運用される複数のファンドをまとめたものをいいます。当該コンポジットには当ファンドの投資対象ファンドも含まれます。

10年先を見据えた投資で、堅調なパフォーマンス

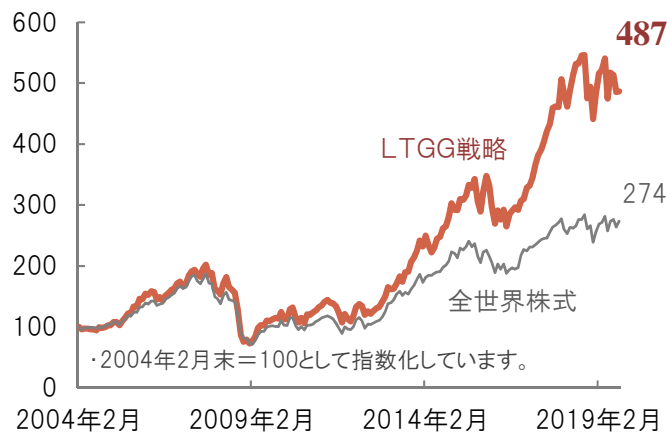
当ファンドは、ベイリー・ギフォード社のグローバル株式運用戦略である「LTGG戦略」を活用し、10年先を見据え、長期の視点で銘柄選定を行います。

LTGG戦略は、2004年2月に運用を開始して以降、全世界株式と比較して堅調に推移してきました。

「長期の視点で高い成長が期待される銘柄を辛抱強く保有する」ことが、堅調なパフォーマンスを支えています。

LTGG戦略のパフォーマンス推移

(期間:2004年2月末~2019年9月末)



期間別の騰落率

	1年	3年	5年	10年	設定来
LTGG戦略	-11%	64%	83%	332%	387%
全世界株式	-4%	41%	36%	169%	174%

好パフォーマンスの源泉は、銘柄選定と継続保有

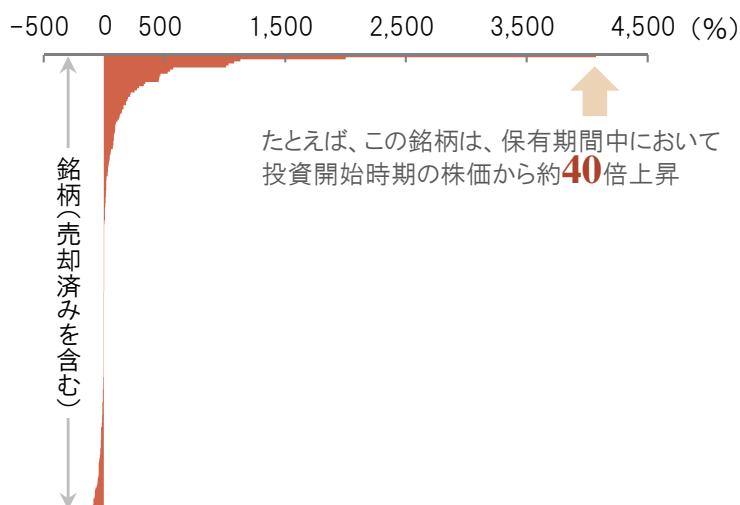
市場参加者の多くは、株価が上昇すれば利益を確定する傾向にあります。

しかし、そのような短期志向は結果として、長い目で見れば有利であったはずの投資機会を逃してしまう場合があります。

一方で、LTGG戦略では、10年先にわたって継続可能な成長力を持つと考える企業を継続保有することにより、高いリターンを達成してきました。

【ご参考】LTGG戦略で投資を行った銘柄の保有期間リターン

(期間:2004年2月末~2019年9月末)



・上記「LTGG戦略のパフォーマンス推移」では、代表的な指数の中で、LTGG戦略の投資対象の性質を表すのに、運用チームが相応と考える全世界株式を表示しています。全世界株式は、MSCI オールカンントリー・ワールド インデックス(税引き後配当込み米ドルベース)をもとに委託会社が円換算したものです。全世界株式は当ファンドのベンチマークではありません。・LTGGコンポジットは、円ベース、配当および分配金再投資のパフォーマンスを表しています。また、「LTGG戦略のパフォーマンス推移」では、運用報酬を控除しています。・上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

(出所)Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称:ロイヤル・マイル〉

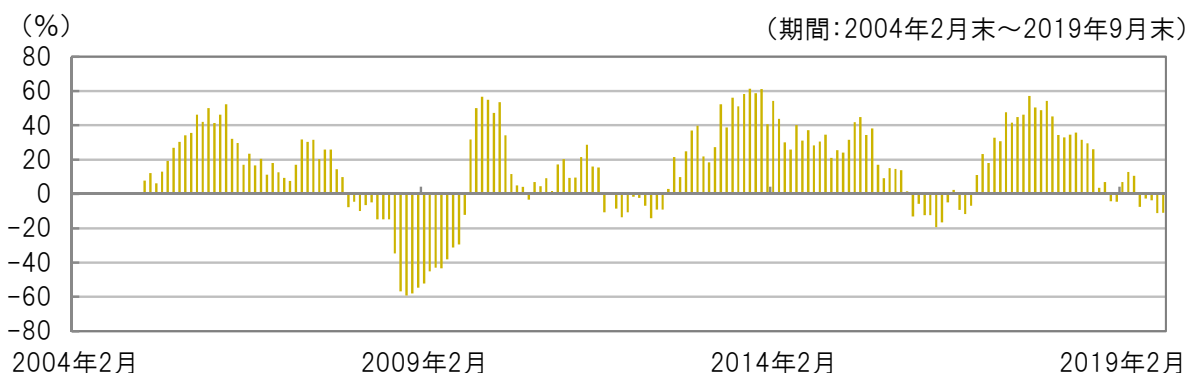
【ご参考】LTGG戦略の期間別リターン(年率)

下記は、長期の運用実績をお示しするため、LTGGコンポジットのデータを用いています。LTGGコンポジットは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

期間別にみると、1年、5年ではマイナスになることがあるものの、10年では一度もマイナスにはなりません。

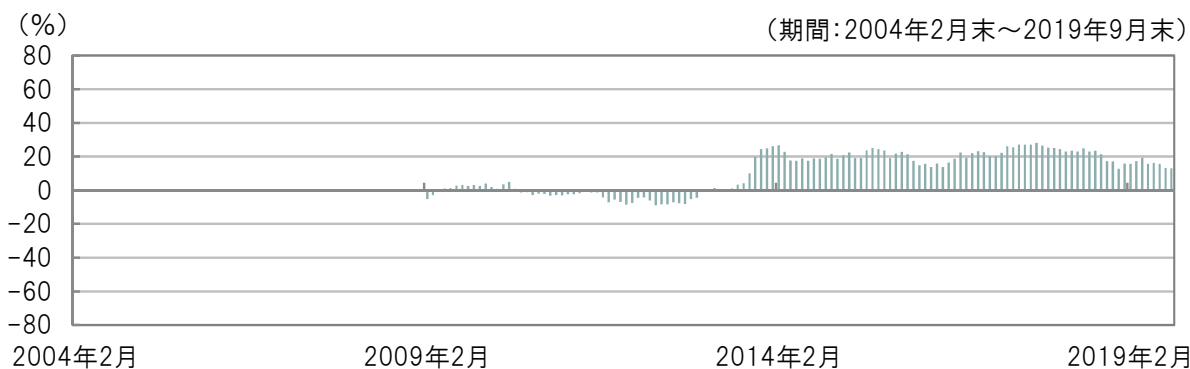
1年間

最大リターン	61%
最小リターン	-59%
平均リターン	15%



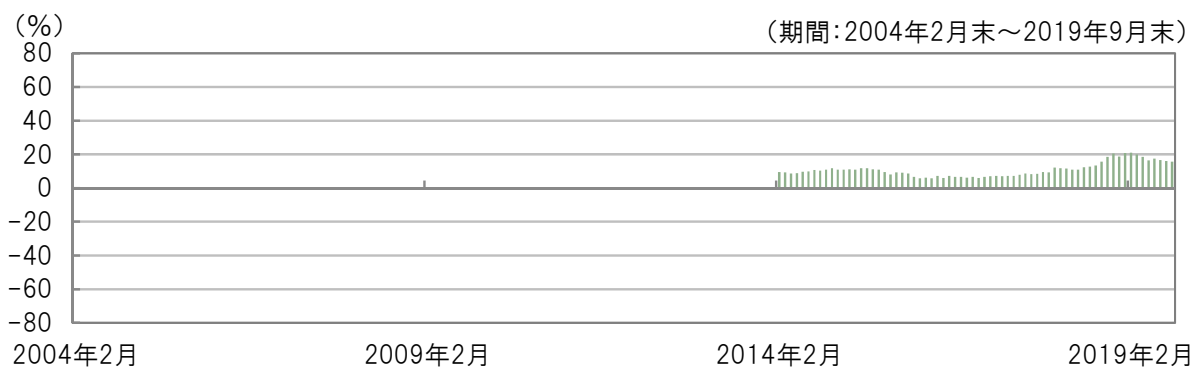
5年間

最大リターン	28%
最小リターン	-9%
平均リターン	11%



10年間

最大リターン	21%
最小リターン	6%
平均リターン	11%



・LTGGコンポジットは、運用報酬控除後、円ベース、配当および分配金再投資のパフォーマンスを表しています。・上記は、各月末における1年、5年、10年のリターン(年率換算)を表しています。例えば、2019年9月末のリターンは、1年の場合2018年9月末~2019年9月末までの1年間のリターン、5年の場合2014年9月末~2019年9月末までの5年間のリターン(年率換算)、10年の場合2009年9月末~2019年9月末までの10年間のリターン(年率換算)を表しています。平均は各期間別リターン(年率)の単純平均値を表しています。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

(出所)ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

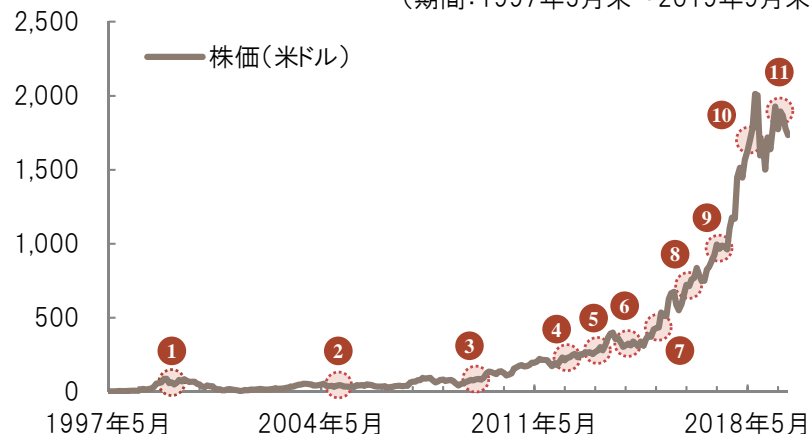
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称:ロイヤル・マイル〉

【ご参考】LTGG戦略における長期投資の一例(アマゾン・ドット・コム)

2019年9月末現在における当ファンドの組入1位のアマゾン・ドット・コム(以下、アマゾン)は、2004年から約15年間にわたって継続保有しています。ベイリー・ギフォード社は、アマゾンの創始者で最高経営責任者(CEO)を務めるジェフ・ベゾス会長が直接面談を受け入れる数少ない運用会社の1つともいわれています。機関投資家としての立場から、早い段階から成長が期待される企業の経営陣と真摯に向き合い、10年先を見据えて投資してきた信頼の証とも考えられます。

アマゾンの株価と、ベイリー・ギフォード社の取り組み一例

(期間: 1997年5月末～2019年9月末)



- ① 初回ミーティング (1999年)
- ② 保有開始 (2004年)
- ③ 株主総会前に開示内容に関して協議 (2009年)
- ④ 役員報酬に関して協議 (2012年)
- ⑤ スtockオプションの行使価格に関して協議 (2013年)
- ⑥ 独立取締役とのエンゲージメント*1 (2014年)
- ⑦ プロキシアクセス*2に関して協議 (2015年)
- ⑧ 新たに設置したCSR担当の経営陣との面談 (2016年)
- ⑨ 企業文化や労働環境などに関して協議 (2017年)
- ⑩ 取締役会のダイバーシティ(多様性)について協議 (2018年)
- ⑪ ディスクローチャーの改善と人的資源管理 (2019年)

*1 機関投資家が企業に「目的をもった対話」を行うこと。当該企業の持続的な成長と企業価値向上を促すことを目的とする。

*2 米国の株主総会において、株主が特定の取締役候補者の選任を株主総会議案として提案し、会社から株主に送付される書類に掲載することを請求できる権利のこと。

アマゾンに関するベイリー・ギフォード社の「10のチェックポイント」

チェックポイント	アマゾンに関するベイリー・ギフォード社の見解	
産業の魅力度	1 今後5年で売上が2倍になる余地があるか?	オンライン商取引市場での収益と、クラウド事業のアマゾン・ウェブ・サービス(AWS)の急速な成長が収益を牽引
	2 それ以降の見通しはどうか?	AIアシスタント「アレクサ」を通じたオペレーティングシステム(OS)を世界へ提供
企業の競争力	3 競争優位な点は何か?	徹底的な顧客第一主義、金融市場の短期志向から一線を画した長期方針
	4 企業文化は他社と明確に差別化されているか?	ジェフ・ベゾス会長の優れた経営手腕と調和のとれた企業文化
	5 なぜ顧客はその企業を好むのか?社会に貢献する姿勢は?	価格、品揃え、継続的なサービス改良が顧客満足度の向上に寄与
財務基盤の強さ	6 資本利益率は魅力的か?	オンライン商取引市場での収益は期待水準、AWSは期待水準以上
	7 資本利益率は上昇するのか?それとも低下するのか?	上昇を見込む(場合によっては劇的に上昇)。
経営陣の資質	8 どのように資産配分をしているのか?(設備投資、配当や撤退戦略等)	投下資本が1,000倍になるような成長機会を追求
バリュエーション	9 株価が5倍以上になる可能性は?	顧客満足度が高く、競合他社比で優位な立場にあるため、5倍になる可能性は高いと判断
	10 なぜ市場は見過しているのか?	事業に対する認知度は高いが、成長機会の規模に関して過小評価。

・上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記チェックポイントは、今後変更されることがあります。

・上記は2019年9月末現在における投資対象ファンドの組入銘柄についてご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

(出所) Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの2019年第1四半期レポートを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称:ロイヤル・マイル〉

【ご参考】LTGG戦略の組入銘柄の変遷

下記は、長期の運用実績をお示しするため、代表ファンドのデータを用いています。代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりませんが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

世界の株式時価総額上位10企業とLTGG戦略上位10銘柄の変遷をみると、アマゾンやテンセントは世界株式市場で株式時価総額が上位10銘柄にランクインする前に、LTGG戦略に組み入れられていることがわかります。このように、LTGG戦略では長期的な成長が見込まれる銘柄に関しては市場の注目が集まる前に早期で組み入れられるよう綿密な企業調査等を行うことで、良好なパフォーマンスをめざしています。

世界の株式時価総額上位企業とLTGG戦略組入上位10銘柄の推移

	2004年3月	2008年3月	2013年3月	2018年3月
世界株式市場	1 ゼネラル・エレクトリック	エクソンモービル	アップル	アップル
	2 エクソンモービル	ペトロチャイナ	エクソンモービル	アルファベット
	3 マイクロソフト	ゼネラル・エレクトリック	アルファベット	マイクロソフト
	4 ファイザー	ガスプロム	バークシャー・ハサウェイ	アマゾン・ドット・コム
	5 シティグループ	チャイナモバイル	ペトロチャイナ	テンセント・ホールディングス
	6 ウォルマート	中国工商銀行	ウォルマート	バークシャー・ハサウェイ
	7 アメリカン・インターナショナル・グループ	マイクロソフト	ゼネラル・エレクトリック	アリババ・グループホールディング*
	8 BP	AT&T	マイクロソフト	フェイスブック
	9 インテル	プロクター・アンド・ギャンブル	IBM	JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー
	10 HSBCホールディングス	ロイヤル・ダッチ・シェル	ネスレ	ジョンソン・エンド・ジョンソン
LTGG戦略	1 ゴールデン・ウエスト・ファイナンシャル	ブラジル石油公社	アマゾン・ドット・コム	アマゾン・ドット・コム
	2 サムスン電子	アラスコプロ	ケリング	テンセント・ホールディングス
	3 ブラジル石油公社	ポルシェ・オートモビール・ホールディング	インディテックス	アリババ・グループホールディング*
	4 インペリアル・ブランズ	サンドピック	テンセント・ホールディングス	イルミナ
	5 ノキア	ヴァーレ	バイドゥ	フェイスブック
	6 アラスコプロ	アマゾン・ドット・コム	アルファベット	テスラ
	7 ガスプロム	ガスプロム	アラスコプロ	バイドゥ
	8 ムーディーズ	イーベイ	イーベイ	エヌビディア
	9 キヤノン	キヤノン	ホールフーズ・マーケット	ケリング
	10 セッコウ・エクスプレス	ルクオイル	アップル	ネットフリックス

・「組入上位10銘柄」は、各時点における代表ファンドの組入上位銘柄についてご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

(出所)Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称:ロイヤル・マイル〉

ファンドの目的

日本を含む世界各国(新興国を含みます。以下同じ。)の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

1 長期の視点で成長が期待される世界各国の株式等に投資を行います。

- 外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドの円建外国投資証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式等(DR(預託証券)を含みます。以下同じ。)に投資を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。
 - DR(預託証券)とは、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。
- 投資にあたっては、国や地域、業種、時価総額に捉われずに、個別企業に対する独自の調査に基づき、長期の視点で高い成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行います。

2 外国投資法人の運用は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドが行います。

- ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドは、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの子会社で、実質的な運用はベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドが行います。
- ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドは、英国の独立系運用会社であるベイリー・ギフォード&カンパニーの100%子会社であり、英国外のお客様に対して資産運用・助言サービスを提供するための会社です。

3 原則として、為替ヘッジは行いません。

4 年1回の決算時(1月25日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)
- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

- お客さま専用フリーダイヤル:
0120-151034(受付時間/営業日の9:00~17:00)
- ホームページアドレス:
<https://www.am.mufg.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

設定・運用

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの**運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。**

したがって、**投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク

主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に組み入れる株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は、基準価額の下落要因となります。

為替変動リスク

主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に外貨建資産に投資を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。

信用リスク

株式の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、株式の価格が下落すること、配当金が減額あるいは支払いが停止されること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■ その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■ リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的に行われるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

〈投資対象ファンド(国内投資信託を除く)の信用リスク管理方法〉

投資対象ファンドの管理会社および投資運用会社は、投資対象ファンドにおいて、欧州委員会が制定した指令(UCITS指令)に定めるリスク管理方法に基づき信用リスクを管理します。

【本資料で使用している指数について】

■ 全世界株式:MSCI オールカントリー・ワールド インデックス

MSCI オールカントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

【GICS(世界産業分類基準)について】

Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc. とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc. およびS&Pに帰属します。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称:ロイヤル・マイル〉

お申込みメモ

購入時

購入単位 販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。**購入価額**購入申込受付日の翌々営業日の基準価額
※ 基準価額は1万口当たりで表示されます。

換金時

換金単位 販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。**換金価額** 換金申込受付日の翌々営業日の基準価額**換金代金**

原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目から販売会社においてお支払いします。

申込について

申込不可日次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。
・ダブリンの銀行の休業日およびその前営業日**申込締切時間**

原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。

換金制限

ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。

購入・換金申込受付の中止および取消し

金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象証券の取得・換金の制限、投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等）があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。

その他

信託期間 2029年1月25日まで（2019年1月31日設定）**繰上償還**

受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。なお、ファンドが主要投資対象とする外国投資証券が存続しないこととなった場合には繰上償還となります。

決算日 毎年1月25日（休業日の場合は翌営業日）

※初回決算日は2020年1月27日

収益分配

年1回の決算時に分配金額を決定します。（分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。）販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。

課税関係

課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

ご購入の際は、投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時

購入時手数料購入価額に対して、**上限3.30%（税抜 3.00%）**
販売会社が定めます。
くわしくは、販売会社にご確認ください。

換金時

信託財産留保額

ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中

運用管理費用（信託報酬）

- 当該ファンド
日々の純資産総額に対して、**年率1.5895%（税抜 年率1.4450%）**をかけた額
- 投資対象とする投資信託証券
投資対象ファンドの純資産総額に対して**年率0.055%以内**
（マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。）
- 実質的な負担
ファンドの純資産総額に対して**年率1.6445%程度（税抜 年率1.5000%程度）**
※ファンドの信託報酬率と、投資対象とする投資信託証券の信託（管理）報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。

その他の費用・手数料以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。
・監査法人に支払われるファンドの監査費用
・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等
・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
・その他信託事務の処理にかかる諸費用等
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※ 運用管理費用（信託報酬）および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※ 上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料に関するご注意事項

- 本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称:ロイヤル・マイル〉

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
FFG証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第5号	○			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号	○			
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○